

IK2HKT リモート局 訪問

JABUSA 島本正敬



山頂からはアルプスの山々が



標高 1400m の山頂までは Gondola で



IK2HKT



彼のリモート局のある山頂のホテル



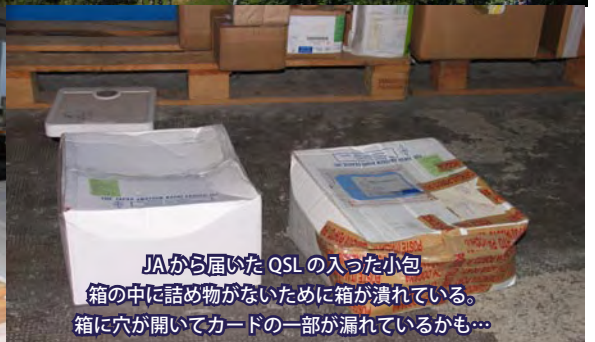
テレビや業務無線の中継アンテナに混じって HF や VHF のビームが



イタリアの QSL ビューローは彼のボランティア



QSL の整理箱

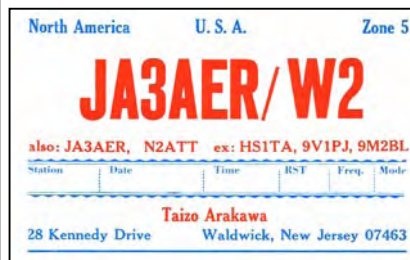


JA から届いた QSL の入った小包
箱の中に詰め物がないために箱が潰れている。
箱に穴が開いてカードの一部が漏れているかも…

短い北イタリア滞在中、ミラノから北東へ 40km ほどのベルガモという町近くにある IK2HKT Sten のリモート局を訪れた。数週間前に落雷で損傷した機器を自宅で修理するため、リモート局は空っぽの状態が残念だったが、ロケーションの凄さに先ず絶句。標高 1000m の駐車場から Gondola に乗ってという不便さをものともしない場所であることに間違いない。山頂にある小さなホテルの地下にある数部屋をシャックにしている。自宅とは数 km あり見通しては無いのだが、高利得のアンテナをワイヤレス LAN の機器に接続して無線機の制御と音声の双方向伝送に使用している。単にリモートが出来ると言う程度ではなく、本格的なコンテスト運用ができるまでのリモート局。無線機、リニア、アンテナの方位、アンテナの切替等、全てがリモートでコントロールできる。自宅が山に囲まれた環境なので、より良いロケーションを求めて場所を物色、この場所を得た。自宅のビームアンテナでは全く聞こえない信号がリモートロ

ケーションでは聞こえることもあるそうだ。これは 15m や 10m で顕著で、自宅よりバンドが開いたり閉じたりするのが各 1 時間程度長くなることも。低いバンドでは信号強度が余り変わらないが S/N の違いが大きな助けとか。話の中で PC で制御をする HF トランシーバ Kachina に彼が興味を持っていることが判明。発売開始当時購入したものの 1 ~ 2 週間使用したもののそのまま眠っている Kachina が生駒の自宅にあることを思い出して送ることを約束。帰国するなり直ぐに FedEx で送ったら、受領して試験済みとの連絡が入った。もう一箇所別のリモート局の候補地があるので、そこにセットするそうだ。設定が完了したら IP アドレスを知らせてくれるとのことなので、生駒にいながらイタリアからの運用がそのうち実現しそうだ。IK2HKT とは IH9P で一緒にからの付き合い。イタリア無線連盟 ARI のコンテストマネージャーを務め、QSL ビューローのボランティアをそれも自宅でやっている。

一枚の写真から
JA3AER 荒川 泰蔵
JA3AER/W2 の巻



FOR AGENCY USE ONLY. DO NOT COMPLETE. (SEE REVERSE)

FCC Form 610-AL
July 1984

UNITED STATES OF AMERICA
FEDERAL COMMUNICATIONS COMMISSION
GETTYSBURG, PA. 17325

PART II—RECIPROCAL PERMIT FOR ALIEN AMATEUR LICENSEE

THE BELOW NAMED ALIEN IS HEREBY AUTHORIZED TO OPERATE THE FOLLOWING DESCRIBED AMATEUR RADIO STATION IN AREAS WHERE COMMUNICATIONS ARE REGULATED BY THE FCC.

LICENSEE: TAIZO ARAKAWA	CALL SIGN: JA3AER
RECIPROCAL COUNTRY: JAPAN	EXPIRATION DATE OF PERMIT: NOV 4 1986

Operation under this permit must be in accordance with (1) current International radio regulations; (2) the terms and conditions of the bilateral agreement for reciprocal amateur radio operation between the alien's Government and the Government of the United States; (3) Subparts A through E, G and H of Part 97 (Amateur Radio Service) of the Rules and Regulations of the Federal Communications Commission; (4) the terms and conditions of the license issued to the alien by his government, but not to exceed the FCC Amateur Extra class privileges; and (5) the special conditions (if any) set forth below.

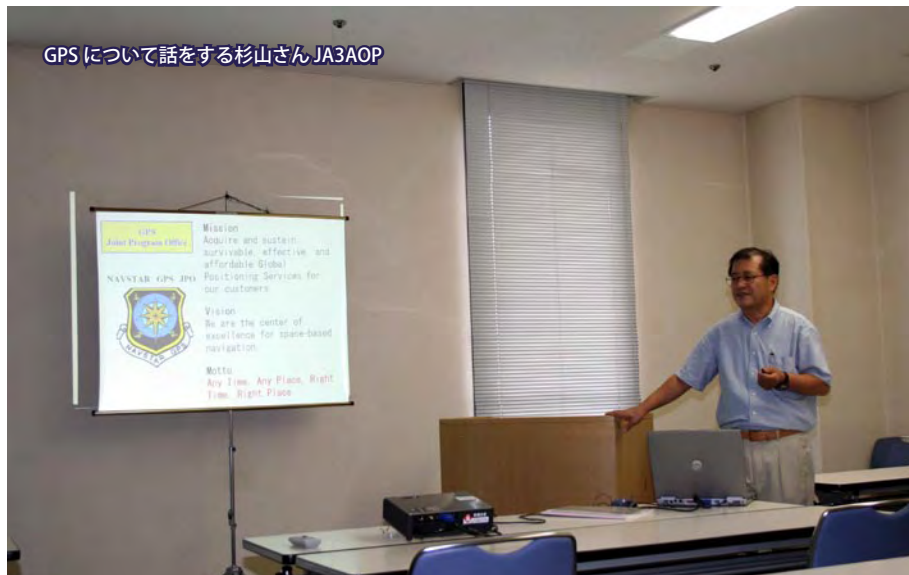
This permit may be summarily modified, suspended or cancelled by the Commission without advance notice.

SPECIAL CONDITIONS:

FEDERAL COMMUNICATIONS COMMISSION

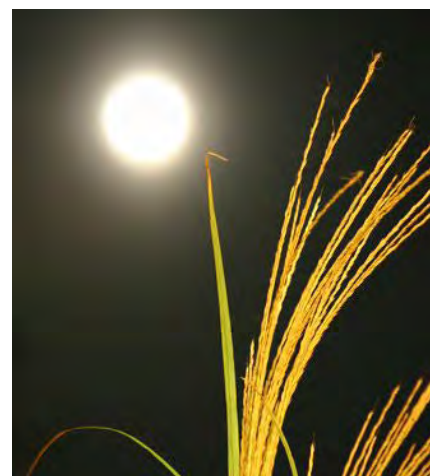
今回の写真は運用許可証と QSL カードである。日本が初めて海外との相互運用協定を結んだのは、確か 1985 年にアメリカ合衆国とであったと思う。当時ニュージャージー州に駐在し N2ATT で運用していたが、相互運用協定で運用の許可を申請していた何名かの日本人に写真のような運用許可証が発行された。許可期間が 1 年であったので 1985 年 11 月、今から 20 年前のことであったと思われる。運用許可証のコールサイン欄には JA3AER と日本のコールサインしか表示されていないが、運用地のプリフェックスを最後につけるということで、JA3AER/W2 のコールサインで運用した。その後 FCC の免許保有者はこの相互運用協定による許可は無効ということになり、運用許可証は更新することもなく 1 回限りとなった。現在では相互運用協定による運用は許可を申請する必用も無くなり、アメリカの業務簡素化 / 経費節減とは言え便利になったものである。

GPS について話をする杉山さん JA3AOP



I-house ラジオクラブ お話し会

Augst 28, 2005



the Asia Pacific
DX Convention

November 18 - 20
at Osaka Int'l House by JI3ZAG

Newsletter

<http://ja3.net/ihouse/html/nl.html>
会報を自由にダウンロードすることができます

Web: <http://ja3.net/ihouse>

Rollcall

Every Saturday 00:00UTC @14.155MHz

Monthly meeting

at International House Osaka
on the 2nd Friday of each month

TV-over-IPを始めよう



ビデオストリーミングについて話す島本さん JA3USA